

株式会社 ライフトゥデイ



<https://todei.co.jp/>

- 所在地：宮城県仙台市若林区清水小路6-1東日本不動産仙台ファーストビル1階
- 従業員：5人
- 会社設立年（西暦）：2018年
- 事業内容：医療現場のニーズをもとに新規事業開拓を支援する法人向け医療機器コンサルティング

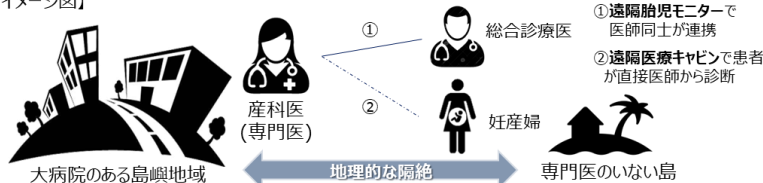
事業名

島嶼国における日本発遠隔診療サービスのプラットフォームFS事業（フランス領ポリネシア）

新興国企業等との協力・連携

- 共創パートナー：Centre Hospitalier de Polynésie française
- 業種：病院（医療機関）
- 連携内容：日本発デジタル技術を活用した遠隔診療サービスの現地での価値と影響度を検証するための、実証実験を本病院で行う。

【イメージ図】



現地の経済・社会課題

- 慢性的な専門医の不足により医療サービスが行き届かない。
- 小さい島地域では医療器材等十分に整っていない。
- その他の大洋州島嶼国でも同様の課題を抱えている。
- 出生数の多い地域では妊産婦や新生児の死亡例も多い。

実証手法とその内容

文献やヒアリングによる基礎調査、現地での実証調査を通して、以下の製品の事業性を評価する。

- ①遠隔胎児モニタリング **iCTG** メロディ・インターナショナル株式会社
 持ち運び可能な**ワイヤレス分娩監視装置**。救急搬送時や産婦人科医が不在の地域において、いつでもどこでも妊婦自身や医療スタッフが**母子の健康状態を計測**。
- ②遠隔診療スマートキャビン **MT011/012-CT Mediot**（本社：フランス）
 プライベートルームで遠隔診療が可能な設置型診療機器。**専門医がいない地域**において、モニターと計測機器を通じて専門医の**遠隔診療**が可能。



期待される裨益効果

- ①本技術によって医師不足を補うことで、高度な周産期医療に掛かる費用を削減し、ひいては母子死亡率の低下が見込める。
- ②医療資材の非常に少ない島嶼部に医療用の計測機器を導入し、専門医へのアクセスを高めることにより、医療水準のアップが見込める。